

《日時》 令和7年7月4日(金) 13時半～15時

《場所》 会議室

《出席者》

・ 委員

木村 雅則(四天王寺大学 教授)

吉岡 記博(速水小学校 校長)

杉井 信夫(門真市立門真第三中学校 校長)

玉置 哲也(令和6年度本校PTA 会長)

高山 拓也(門真市教育委員会)

中内 恵(本校同窓会)

・ 事務局(学校関係者)

校長 教頭 事務長 首席2名 教務主任 生徒指導主事(首席と兼任)

進路指導主事 保健主事 第3学年主任 第2学年主任 第1学年主任

1. 開会 校長挨拶

委員紹介(出席者各々で自己紹介)

事務局紹介

運営協議会会長選任

2. 会長挨拶

会 長 木村 雅則

副会長 高山 拓也 (門真市教育委員会 教育部 総括参事)

3. 校長より 学校の状況について

(1) 在籍生徒数 (7月現在)

(ア) 1年生 141名

(イ) 2年生 142名

(ウ) 3年生 119名

(2) 部活動加入状況

(ア) 昨年度から増加 30.8% (昨年度:29.3% / 一昨年度:29.8%)

(3) 入学者の出身分布

(ア) 昨年度比門真市からの入学者が減少 49期:34.5% (48期:36.9% / 47期:30.5%)

4. 教頭より

令和7年度学校運営協議会実施要項・教育委員会に対する意見書について

昨年度末に「生徒数減少に伴う教員数の減少に反対する意見書」を提出した経緯がある。

5. 令和7年度学校経営計画について

(1) 学校経営計画・中期的目標：下記、特に重点を置きたい項目

① 確かな学力の育成

(1)イ 教員向け「学習指導方法の工夫改善」の大幅な向上 (R5:78.6% / R6:92.9%)

(2)ア 生徒向け「授業はわかりやすく質問にわかりやすく教えてくれる」の向上
(R5:74.6% / R6:79.9%)

② キャリア教育の推進

(1)ア 教育産業模試の受験者数の維持 (R5:4.5% / R6:2.3%)

③ 豊かな心と健やかな体の育成と学びを支える環境整備

(1)イ 自転車マナーの向上 (R5:81.7% / R6:86.1%)

(3)イ 教員向け人権尊重に基づいた指導の肯定率を90%以上の維持
オ 生徒向け「気軽に相談」の向上 (75.5%)
居場所カフェを定期的に開く (月3回)

④ 魅力づくりと効果的な情報発信で学校力向上

(1)イ 保護者向け「学校情報の提供の努力をしている」(R5:76.6% / R6:71.3%)

(2)エ 時間外勤務が月80時間以上の職員の数の減少 (R5:19名 / R6:20名)

(2) 令和6年度からの変更点

(1) 確かな学力の育成

10年目3名 + 初任者2名 による授業改善チームが主体となり、授業見学等を計画する

6. 教科用図書選定について ・ 令和7年度採用教科書とその経緯の報告 【教務主任】

7. 各学年と4分掌からの本年度の状況について報告

(3 学年主任)

3年生では進路を意識している生徒が増えてきています。進学希望者の中で二極化が見られ、オープンキャンパスに参加していない生徒もいるため、夏休みに参加させるようにしています。

(2 学年主任)

2年生は「楽しい学年」にしたいと考えています。頭ごなしに叱るのではなく、日々声かけをして自尊心を育てたいです。ネガティブな発言が多い生徒もいますが、教員がサポートしながら改善し、充実した

学校生活を送れるよう努めたいと思います。

(1 学年主任)

4月には2年生と3年生の遠足日に、1年生は午前研修、午後スポーツ大会を行いました。学年の現状としては、中間考査までは真面目に取り組む生徒が多い印象でしたが、期末に入って高校生活に慣れたことで気の緩みが見られ、成績が下がっている傾向にあります。通知表は個人面談で返却する予定で、成績不振の生徒については夏休みに呼び出し、課題を課す方針です。

(教務部)

今年度は大きな取り組みとしてカリキュラムの改善を進めています。現在の生徒数や学校の実情に合わせた内容にしていきます。

また、「文化コミュニケーションコース」の在籍者数が年々減少しています。また本校独自の「トレーニング実習」という授業を2・3年で継続実施し、4単位化を考えています。

(進路指導部)

学年から出た話と校長先生のお話は近い内容ですが、もう一度まとめてお伝えします。3年生は進学希望と就職希望で分けて進路指導を行っています。2年生では進路体験の機会を設けようと考えています。1年生は外部講師による講話を計画しています。

(保健部)

今年度の体育祭では、熱中症や緊急搬送は0件でした。PTAからのポカリスエットの配布も大変助かりました。また、保健室の利用件数は717件で、前年の460件から大幅に増加しています。1日平均で11～12件の利用となります。利用の理由としては、内科的・外科的なけがは少なく、生徒指導関係や不登校生徒の居場所としての利用が多く見られます。そのため、養護教諭の人数は減らさないようお願いしたいです。

Q (委員)

どの学年の生徒が保健室を多く利用しているのか？

A (保健部)

圧倒的に1年生の利用が多いです。これは毎年の傾向です。

(首席)

人権教育に力を入れています。加えて、同和問題や情報リテラシーの指導も行っています。生徒はコミュニケーションが苦手な傾向があるため、アサーショントレーニングを実施し、総合的な学習の時間をさらに充実させていきたいと考えています。

8. 協議

(事務局)

今年度も「生徒数減少に伴う教員数の減少に反対する意見書」を早急に提出したいと考えています。教員が不足し、深刻な状況にあります。

(委員長)

第2回以降に、検討していきましょう。

(事務局 学年主任)

多様化・誰ひとり取り残さない教育の実現のために、SSC・SSWなどによる対応には限りがあります。最終的には担任・副担任の負担が大きくなっています。講師不足等で、教諭が必要です。いろんな場面で、教員がいれば…と思うことが何度もあります。

(委員 PTA) 教員数を増やすには、根拠資料が必要です。不足しているという理由だけでは不十分です。

(委員長)

これからその根拠資料を一緒に作っていきましょう。

(委員 中学校長)

HPの新規作成の完成が10月と聞きましたが、もっと早ければ中学生の進路選択のタイミングに間に合うのでは…

(事務局 首席)

進路選択に間に合うタイミングだと考えています。今回は斬新なデザインのものをお願いしています。

(委員 他)

中学校ではどんなお知らせをしていますか？

(委員 中学校長)

大阪府のまとめHPから、各高校のHPへ飛べるようになっていきます。

(事務局 校長)

令和10年度から入学者選抜により、学校特色枠を導入します。アドミッションポリシーを重視した入試が可能になります。私は、部活動を頑張る生徒を積極的に受け入れ、本校の部活動をさらに活性化させたいと考えています。中学時代から部活動に熱心に取り組んできた生徒に入学してほしいです。

(委員 PTA)

まさにその通りだと思います。他校でもクラブ活動が活発な学校は人気が出ています。学校特色枠でどれくらいの人数を入学させることができるのか。他にも別の選抜方法で判断することは可能なのか知りたいです。

(事務局 校長)

公平性に欠ける選抜方法は難しい面があります。

(委員長)

次回(第2回)運営協議会までにキャッチコピーを決めましょう。

(事務局 校長)

少し早めに決定しておく必要があります。

(委員 他)

クラブ活動に関連した内容が良いのではないのでしょうか。

※この後、さまざまな案が出された。

(委員 PTA)

クラブも魅力ですが、本校の先生方の強みは「生徒に親身に寄り添えること」だと思います。それは学校評価の数字にも表れています。例えば「入学してくれた生徒はとことん面倒をみます!」というようなメッセージを打ち出してみてもどうでしょうか。高校生活に不安を感じる生徒も、「進級させます! 卒業させます! 進路を見つけ出します!」と伝えるのは効果的だと思います。

9. その他 事務連絡

次回(第2回)は 11月17日(月)13:30~15:00を予定 内容は授業見学&協議